

鹿児島高専では、本校に所属する留学生が日本文化への理解を深めることを目的とした研修旅行を毎年実施しています。2023年度の研修旅行は、福添孝明国際交流委員が引率し、留学生6名とチューター学生6名が参加しました。

最初に熊本城を訪問しました。2016年に発生した地震で、一部が崩壊する被害を受けていましたが、2021年に場内展示がリニューアルし、最上階からの眺めが楽しめるようになっていました。従来は城壁沿いの階段を経由していましたが、現在はエレベーターが併設された特別見学通路が設置されており、以前とは違った形で見学が出来ます。今回は都市環境デザイン工学科に所属する学生が多かったためか、城の普請技術に強い興味を持って見学していた様です。天守閣からの眺めは良好ですが、復旧工事の様子が散見され、地震被害の大きさを改めて再認識する機会ともなりました。



次に白川水源を訪問しました。名水百選に選ばれている風光明媚な場所で、4Lのペットボトルを購入して持ち帰る参加者もおりました。





最後に阿蘇山火口を見学しに行きました。ちょうど秋の季節でススキが幻想的な風景を象っていました。鹿児島にも桜島という火山がありますが、阿蘇山は火口近くまで見学することが出来ます。以前はロープウェイがありましたが、地震や噴火の影響で廃止となることが、活火山であることを認識させられます。火口付近では大規模な断層を見ることが出来るので、地学的にも勉強になったのでは無いかと思います。



【以下は参加者へアンケートを実施し、参加者からの感想です。】

- ・色々な場所を見に行ったことがすごく楽しかった。
- ・バト君との距離が普段より近く、様々な会話や活動ができた。思い出に残る非常に楽しい一日を過ごせたと思う。